在大阪ロシア連邦総領事館 総領事

アレクサンドル・アレクサンドロヴィチ・テルスキフ様

2025年2月24日

ウクライナ侵略開始3年にあたってプーチン大統領への抗議と要請

2022年2月24日、貴国がウクライナに全面侵攻を開始して本日で丸3年となる。ウクライナ東部では激しい戦闘が続き、ロシア軍のミサイル・ドローン攻撃はウクライナ全土に及んでいる。この3年間で多くの市民が傷つき命が奪われた。国連発表によるとウクライナ市民の死者1万2,650人以上、負傷者2万7,836人以上、子どもの死者669人以上、負傷者1,854人以上、国外避難者は690万3200人に及ぶ。また、双方の兵士たちも傷つき死んでいる。その数は数十万人にも及ぶ。このウクライナ戦争の根本的原因は、ウクライナをロシアの属国にしたいプーチン大統領の侵略的野望にあることは今や明白だ。すでに2度にわたり国連総会で圧倒的多数の賛成で貴国の侵略行為は非難され撤退が要求されている。ロシア軍は、国連決議、国際法、国連憲章にもとづいて即時・完全・無条件に撤退すべきである。

さらにあなたは目的達成のためなら手段を選らばない。20,000人を超える子どもたちの強制移住・ロシア化教育、ウクライナ捕虜兵への男女問わない性的迫害、電力・エネルギー施設への攻撃、1,000を超える学校の破壊、800を超える保健医療施設の破壊、住宅地や歴史的建造物への破壊を行った。これらの行為は国際刑事裁判所（ICC）において国際人道法違反と確認され、プーチン大統領、あなたには逮捕状が出されている。このような蛮行は、今後「停戦」がいかに推移しようとも消し去ることはできない。プーチン大統領、あなたは法の裁きを受けねばならない。

また、プーチン大統領はじめ貴国政府の高官は、核兵器使用の発言を繰り返している。戦術核使用の軍事演習を行い、ベラルーシへも核兵器配備を進めている。2月初旬には、首都キーウ北部にあるチェルノブイリ原発が攻撃された。大事故一步手前の危険この上のない行為である。かつてチェルノブイリ原発事故を経験したウクライナが首都北部の原発を自ら破壊するはずはない。戦争被爆国、日本の市民は、こうした核兵器使用の威嚇を強め、原発の占領と攻撃を繰り返す貴国に対して強い怒りとともに断固抗議する。

米国、トランプ大統領は、「自分なら一日で戦争を終わらせる」と豪語してきた。だが、実際には「停戦」は進んでいない。2月に入りトランプ大統領とプーチン大統領とが電話会談をし、米・ロ外相会談が行われた。ICCから戦争犯罪人として逮捕状がでているあなたは、アメリカを抱き込みウクライナ戦争を有利に進めようとしているのだろう。しかし、貴国の攻撃で国土を破壊され、おびたしい犠牲を出している当事国・ウクライナ抜き「交渉」などあってはならない。米・ロ二国の大統領だけで戦争を終結させるという考えは大きな間違いである。ウクライナの未来は、ウクライナとウクライナの市民が決める。

いま、求められていることは、国際法・国連憲章に則った公正で平和的な解決である。そのために、私たちは、まず貴国が停戦し、ウクライナへの侵略的攻撃を直ちにやめることを求める。私たち日本の市民は、戦火で苦しむウクライナの人びとと共にありつづける。ロシア軍は、直ちに撤退せよ！ウクライナに自由と平和と尊厳を！

しないさせない戦争協力・関西ネットワーク
ロシアの即時停戦・撤退を求める高槻市民グループ
戦争法廃止！豊中市民アクション
2.24 侵略3カ年抗議行動参加者一同